

マイオピン点眼薬が選ばれる理由とは？^{わけ}

マイオピン(アトロピン配合)点眼薬は、近視の進行を遅らせるという点で統計的にも臨床的にも有意義な効果が確認されている唯一の治療法です。アトロピン1%は1960年から、すでに近視治療用に使用され続けています。

しかしながらアトロピン1%は下記のような不快な副作用を引き起こします。

1. 瞳孔がひらき続けることによる、まぶしさと強い光による不快感や目の痛み
2. 目の遠近調節機能(手元を見る作業)が低下し、近くの物がぼやけて見え、読み書き等近くを見る必要がある作業が困難になる
3. アレルギー性結膜炎及び皮膚炎

マイオピンは、最適な超低濃度(0.01%)のアトロピンを点眼することにより、近視の進行スピードを効果的に抑えると同時にアトロピン1%点眼薬のような不快な副作用を回避します。

マイオピンは安全ですか？

シンガポール国立眼科センター(SNEC)の研究によりますと、アトロピン0.01%の効果は点眼を2年間継続した後によるものです。^{*2)}

1. アレルギー性結膜炎及び皮膚炎の報告はありませんでした。
2. 眼圧(IOP: Intraocular eye pressure)に影響を与えないとの報告でした。
3. 白内障を形成するとの報告はありませんでした。
4. 点眼終了後も目の遠近調節機能の低下、また瞳孔がひらき続けてしまうという報告はありませんでした。
5. 電気生理学上、網膜機能に影響を与えるという報告はありませんでした。



参考文献

*2) Chia A, Chua WH, Cheung YB, Wong WL, Lingham A, Fong A, Tan D. Atropine for the treatment of childhood myopia: safety and efficacy of 0.5%, 0.1%, and 0.01% doses (Atropine for the Treatment of Myopia 2) (小児近視治療用アトロピンについて、アトロピン0.5%、0.1%、及び0.01%を点眼した場合の安全性及び効能(進行度2の近視治療にアトロピンを使用した場合)). Ophthalmology. 2012 Feb (眼科: 2012年2月); 119 (2): 347 - 54. doi: 10.1016/j.ophtha.2011.07.031.